

保健衛生調查概況

膽澤郡南都田村十二指腸蟲卵保卵者職業別調

備考 幼児ハ農ナ業トスル家庭ニ生育スルモノトス

九山形縣

南村山郡金井村々民、同郡上ノ山尋常高等小學校生徒、最上郡大豐尋常高等小學校生徒ノ寄生蟲卵保有者検査其ノ成績左ノ如シ

二、三六八	一九四七	六四八	五九三	一三	四	二八
檢査人員	蛔蟲	鞭蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蟇蟲	保有セサル者
一	二	三	四	五	六	七

保健衛生調查概況

百分率

八二

二七

三四

〇、五

七六

六、一

上ノ山尋常高等小學校生徒

○、二

六、一

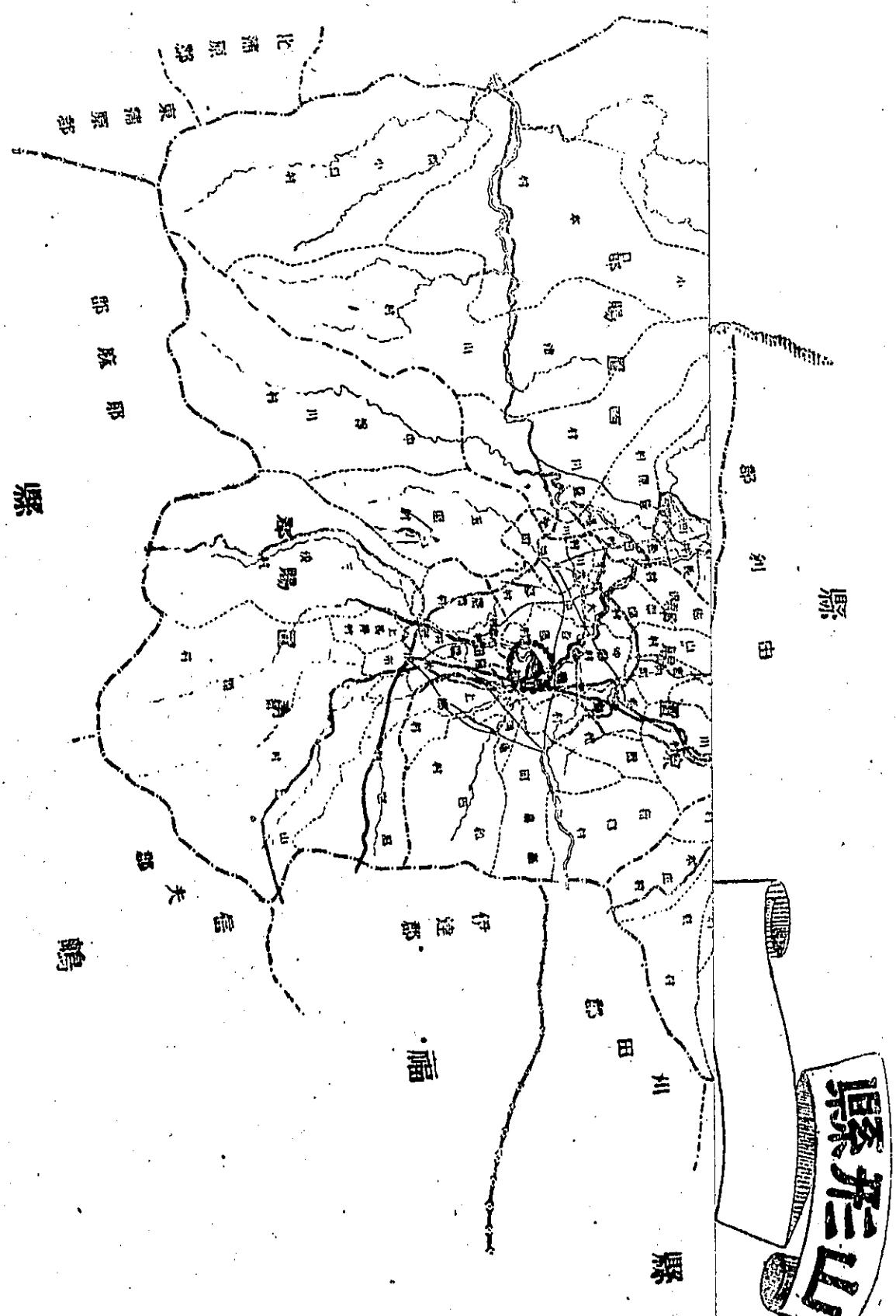
検査人員	蟲卵發見數	蛔 蟲	鞭 蟲	十二指腸蟲	蟇 蟲	保有セサル者
一一〇九	八〇三	七三八	一七〇	一三	三	四〇六
百分率	六七	六一	一四	一二	〇、三	三四

大豊尋常高等小學校生徒

検査人員	蟲卵發見數	蛔 蟲	鞭 蟲	十二指腸蟲	蟇 蟲	保有セサル者
三九三	三五三	三三五	一六九	六九	四	四〇〇
百分率	九〇	八五	四五	一八	一〇	一〇

寄生蟲病

寄生蟲病ニ罹ル人ハ澤山アルケレトモ其起ス病氣カ種々ノ爲ニ蟲ニ罹ツテ居ルトハ知ラスニ居タリ、又度々蟲ニ取付カレルノテ蟲ヲ持ツテ居ルノカ當リ前タト思フテ居ル者モアル、カウシテ大勢ノ人ハ寄生蟲ノ爲ニ病氣ニ成リ方々ノ町村ニハ寄生蟲ノ爲ニ死ヌ人カ殖エテユクノテアル。



縣形圖

古

城

都

加

美

宮

城

都

名

坂

縣

福

田

川

大

信

伊

達

郡

山

大

船

東

浦

原

新

新

縣

利 由 郡

田

縣

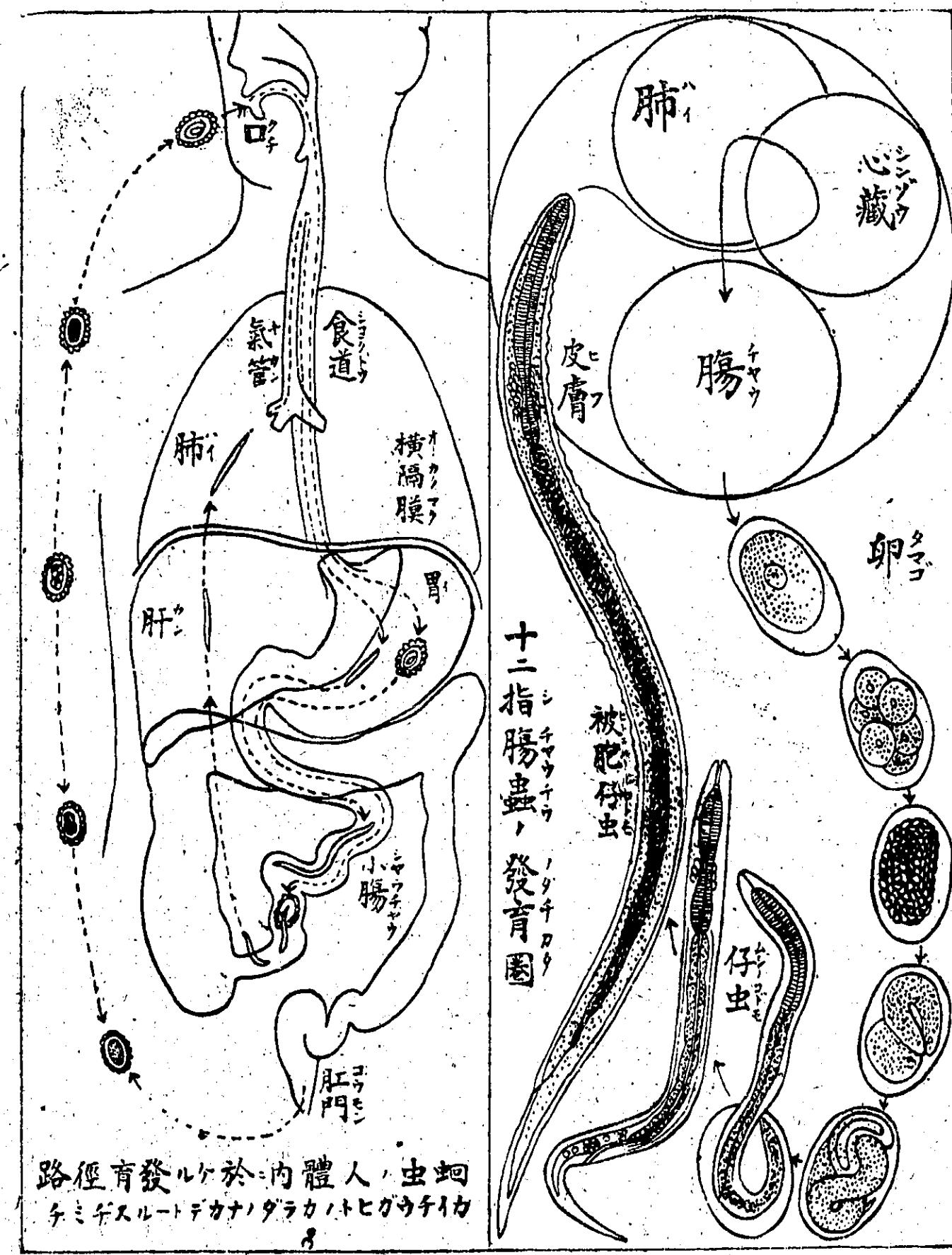
秋

古

一、分千四萬二十三尺縮

凡例

地圖	水道	道路	鐵道	海岸	沙礫地
水道	水道	道路	鐵道	海岸	沙礫地
道路	水道	道路	鐵道	海岸	沙礫地
鐵道	水道	道路	鐵道	海岸	沙礫地
海岸	水道	道路	鐵道	海岸	沙礫地



一、寄生蟲ノ發育圈

種々ノ寄生蟲ノ卵ハ糞便ト一所ニ人體ノ外ニ出ル。

十二指腸蟲ト東洋毛樣線蟲トノ卵ハ其糞便ノ中テヨク育ツテ、夏ナラハ一二日ノ内ニ仔蟲ト成ツテ卵殼カラ脱出シ、其周圍カラ食物ヲ取ツテ四五日ノ後ニ被胞仔蟲ト成ル。十二指腸蟲ノ被胞仔蟲ハ濕ツタ土地ニ居テ、人體ニ入ル時ハ皮膚ノ毛孔ヲ通ツテ靜脈ニ入り血液ニ流サレテ心臟カラ肺ニ行キ、毛細血管ヲ突破ツテ肺胞ノ内ニ出テ小氣管枝、氣管枝、氣管カラ喉頭ニ上リ、夫レカラ食道胃ヲ下リ小腸ニ着イテ成蟲ト成ル、ソレハ皮膚カラ入ツテカラ五六週後ノコトテアル。東洋毛樣線蟲ノ被胞仔蟲モ皮膚カラ入り、成蟲ハ小腸ニ居ルノテ其人體内ヲ通ル徑路モ十二指腸蟲ト同シヤウニ思ハレルノアル。

蛔蟲ト鞭蟲トノ卵ハ夏ナラハ三週間テ孵ル。蛔蟲ノ孵ツタ卵ハ人ノ口カラ入ツテ小腸ニ下リ、幼蟲ハ卵殼カラ出テ腸壁ヲ突破ツテ肝臟ニ入り、橫隔膜ヲ突破ツテ肺臟ニ入り、夫レカラ十二指腸蟲ト同シヤウニ喉頭ヲ通ツテ小腸ニ行キ口カラ入ツテカラ五週間テ成蟲ト成ルノテアル。鞭蟲ト鞭蟲トノ卵タ卵モ口カラ入り、其人體内ヲ通ル徑路モ蛔蟲ト同シヤウニ思ハレルノテアル。

二、寄生蟲ノ病源性

寄生蟲カ人體内ニ居ル時ハ食物ノ消化カ惡ク成リ。をくびカ出タリ胸カ惡ク成ツタリ、食物カ進マナ

ク成ツタリ腹カ痛ンタリスル、又生米ヤ灸豆計リ食ヘタク成ツタリ、瘦セテ血ノ氣カ無クナリ、其爲ニ動悸ヤ息切レカシテ仕事カ出來無クナツタリスル、其爲ニ死ヌコトモ時々アル。

十二指腸蟲、蛔蟲等ノ幼蟲カ人體内ヲ通ル所ハ血カ出テ腫レルノテ病氣ニ成ル、又毎年蟲ニ罹ルト身體ノ育チカ惡ク成リ、頭モ惡ク成ツテ白痴ノヤウニナルコトカアル。蛔蟲ノ成蟲ハ小腸ニ居ル計リテ無ク、胃食道口ニ上リ、鼻氣管ニ入ツテ窒息ヲ起シ、肝脾脾ニ入ツテ腫物ヲ作り、腸壁ヲ突破ツテ腹膜炎ヲ起シ、腹壁ニ突込ンテ皮下ニ膿瘍ヲ作り、又蟲ノ產ンタ卵ハ膽石ノ心ト成リ、蟲カ腸カラ持來タ黴菌ノ爲ニ内臟カ腐ル。夫レカラ寄生蟲ノ毒ノ爲ニ神經病、癲癇、痙攣、強直、夜盲ヲ起スコトモアル。

三、寄生蟲病ノ豫防法

(イ)野糞ヲセヌコト

寄生蟲ノ卵ノ育ツノニハ是非トモ空氣ト適度ノ濕氣ト適度ノ溫度トカ入要テアル。

野原ニ出サレタ糞便ハ土ニ潤ミ露ニ霧ヒ又雨ニ濕シテ、汚イモノハ洗レテ仕舞ツテ腐ル事モ無ク、其地ハ段々軟ラカニ成ツテ蠅ハ其上ニ卵ヲ産ミ付ケ、蛆蟲ハノタクリ廻ツテ初メ固ツテイタ糞便ハ平タク成ル、ソコテ空氣ニ觸レス所ハ無ク、春先暖ク成ルニツレテ蟲卵ノ孵化モノハナイ、ソシテ直射日光ニ遭ツテモ蟲卵ノ死ヌ事ハ無イ、畔ヤ道傍ハ露カ下リテ地面カ濕ツテ居ルカラ被胞仔蟲ハ糞中カ

ラ出テ水氣ヲ傳ツテ匐ヒ廻リ。

雨カ降レハ路上ニ散ハツテ居

ル蟲卵ハ悉皆田ヤ畑ニ流サレ

野菜ニクツ着イテ蟲ハ皮膚カ

ラ口カラ復人體ニ入ル。

野糞ハ少ナクトモ其中ノ蟲卵

ハ皆育ツ、況シテ春カ山ニ來

テ野ニ來テ里ニ來ル時分カラ

彼方此方ニ撒ラハツテ居テ踏

ミ場所モ無イ位アル、ソシ

テ野糞ヲヤル場所ハ大抵定マ

ツテ居ルカ其ノ近所ノ田畠

ヲ耕ヤス家ノ人ハ大概寄生蟲

病ニ罹ツテ居ル、ソレ計リテ

無ク田植ニモ草取ニモ手傳フ

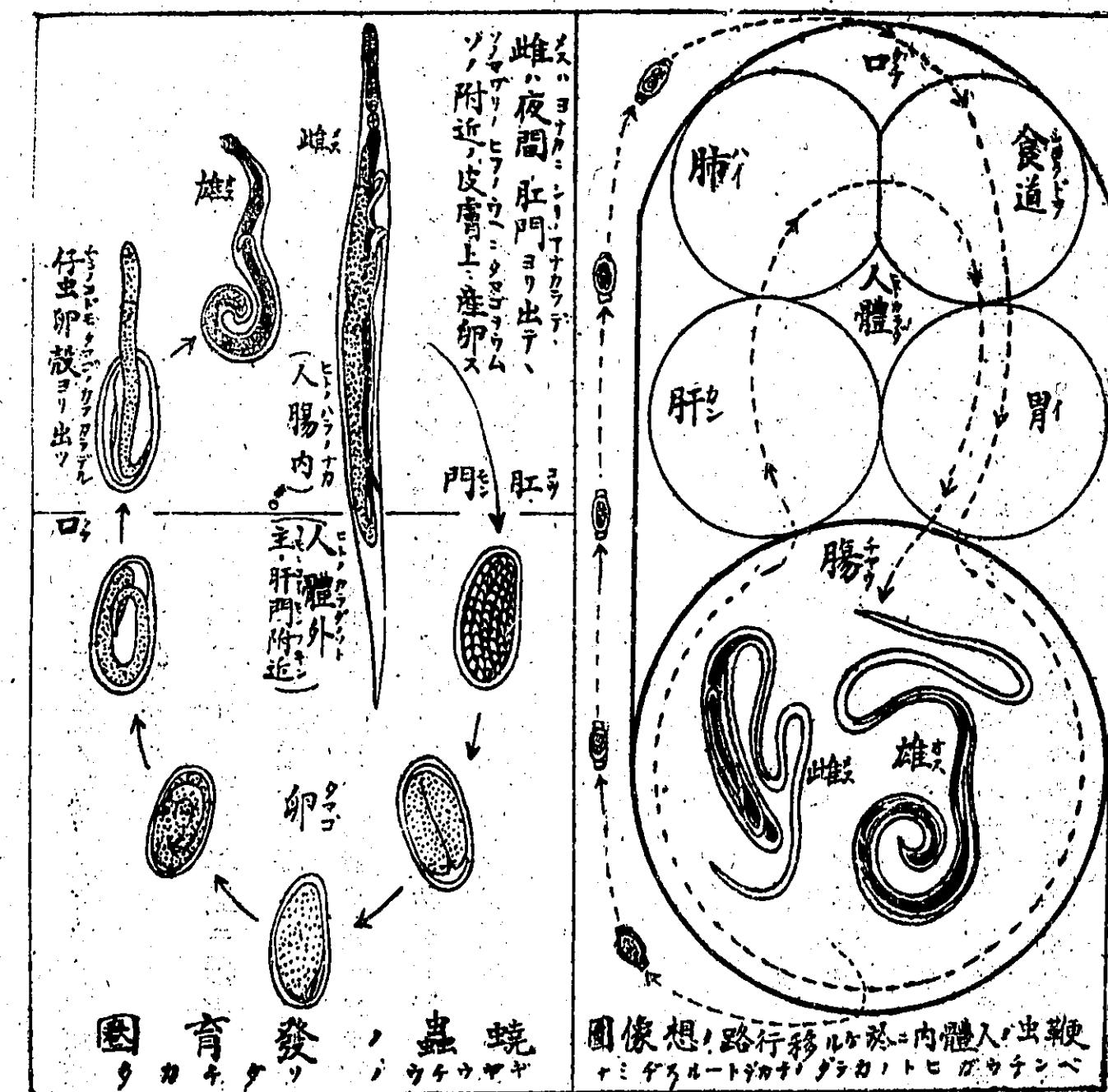
ノテ、一ツ田畠ニ蟲ノ卵ヤ被胞仔蟲カ有レハ其處ヲ働イタ人ハ皆蟲ニ取付カレル。

地方ニヨツテハ糞道トイフ所カアツテ唯テモ其處ヘ來テ野糞ヲスル晝間モ餘計ニ日カ當ラナイシ、地面ハ濕ツテ居ルノテ糞便ハ何時迄モ乾ナイカラ、蟲ハ永ク生キテ居テ雨ノ降ル日杯ニ洗足ヲ其道ヲ歩イタ人ハ蟲カ皮膚カラ入込ムノテキツト病氣ニ爲ル。

野糞ハカヤウニ恐ロシイモノテアルカラ、先生ハヨク其生徒ニ教ヘ、親達ハ其小供ヲ誠シメテ外ニ糞便ヲスルヤウナ行儀ノ惡イコトヲサセナイヤウニシ、又自分ノ地所内ニ野糞カアツタラ拾ツテ便所カ肥溜内ニ捨テ、仕舞フコトハ寄生蟲病ノ豫防ノ爲ニ一番大切ナコトアル。

寄生虫卵保有者検査百分率

	保有者	蛔	蟲	鞭	蟲	蛔	陽	指	洋東	線洋	蟲毛	蠅	蟲	繩	蟲	非保有者
師山範形男子校子	四七、九						二八、六									
上ノ山小學校	八九、三						三九、七									
赤湯小學校	六七						二六、七									
高畠小學校	八五、〇						一四									
小松小學校	六一、五						一二、三									
長井小學校	五六、四						一二、八									
							一、一									
							五、〇									
							一、一									
							五、〇									
							一、一									
							〇、六									
							〇、三									
							〇、六									
							〇、三									
							〇、三									
							五二、一									
							一〇、六									
							三四									
							二七、五									
							一五、〇									
							一五、〇									
							三八、五									



保健衛生調査概況

八三

荒砥小學校 (大正五年度)	六七、五	七六、五	七、五	三二、〇	七、五	三二、五
關根小學校 (大正八年度)	九二、三	八七、五	二四、五	三八、四	一八、一	三、八
最上郡豊田村	一	一	一	三九、六	二三、一	九
最上郡豊里村	九〇、九	八三、五	一八、一	三九、六	一〇、三	七、六
南村山郡金井村	八六、五	八二	四六、七	一三、八	九、〇	三二、五
	九四	一	二七	二四	〇、五	一、四
				〇、二	一	一
				一	一	一
				一	一	一
				一	一	一

(ロ)糞尿ノ取扱ヒヲ改メルコト

寄生蟲ノ卵ハ便所ノ溜ノ内ニハヨク育タナイ。

便所ノ溜内ニ尿ヤ腐ツタ糞尿カ澤山入ツテ居レハ内ニ在ル蟲卵ハ育タス、ソノマヘテ一週間ノ内ニ死シテ仕舞フ、少シシカ入ツテ居ラ無クテヨク空氣ニ觸レ、ハ蟲卵ハ育ツケレトモ、仔蟲ハタツタ一滴ノ尿テ二、三分カラ十五分テ死シテ仕舞フ、ソレタカラ卵ハ死ナ、不モノモ暫時ノ間便所ノ溜ノ内ニアレハ仔蟲ト成ツテ死ヌノテアル。

山形ノ平均氣溫ハ七月カ攝氏廿二度、八月カ廿三度アル、人體外ニ出タ十二指腸蟲卵ハ溫度カ十五度カラ卅度ナレハ六、七日テ被胞仔蟲ト成ルトイフカラ夏ナラハ約一週間糞尿カ混レハ卵ノ育ツタモノモ孵ツテカラ死ヌタラウシ、尙育ツテ被胞仔蟲ト成ツタモノカアツテモ其後二晝夜ノ内ニ死シテ仕舞フヤウニ思ハレル、ソシテ溫度カ高ケレハ高イ程糞尿ノ腐ルノモ早イシ、蟲卵ノ育ツノモ早イカラ

溜内テハ直ニ死ヌノテアル、攝氏十三度カラ十五度ナレハ被胞仔蟲ト成ルノニ、十三日カヘルトイフカラ平均氣溫カ十三度カラ十九度ノ間ニアル五、六、九、十ノ月ニハ十三日、前ニ尿カ浸ミ込ヌハ卵ノ孵ツタモノモ死シテ仕舞フシ、被胞仔蟲ト成ツタモノハ夫レカラ一週間ノ後ニハ死ヌ、蟲卵ハ攝氏六度カラ八度テハ充分ニ育タナイシ、一度テハ一晝夜テ凍死ヌノテアルシ、十一月カラ四月マテノ平均氣溫ハ攝氏九度カラ零點下二度近ク成ルノヲ此ノ半年ノ間ハ卵ノ自然ニ死ヌノヲ待テハヨイ、ケレトモ蟲卵ノ育タ無イトイフノハ死シテ仕舞ツタト云フ譯ナムイカラ三、四月ノ暖カニ成ルニツレテ糞便ヲヨク仕末スルヤウニシナケレハナラヌ。ソレカラ肥溜ヤ堆肥ニハ小屋ヲ作り、小屋ノアルモノモ日光、空氣、雨露ノ入ラヌヤウニシナケレハナラヌ。

(ハ)寄生蟲ヲ驅除スコト

蛔蟲ハ澤山ニ蔓ツテ居ルシ今檢ヘテ無イモノモ復其後テ罹ルトイフ具合タカラ冬農ノ閑ナ時ニ町村民ノ全部カ蛔蟲ヲ驅除シ十二指腸蟲ニ罹ツテ居ルモノハ又之ヲ除ツテ仕舞ハナケレハナラヌ、冬ナラハ體外ニ出タ成蟲モ卵モソノマ、死シテ仕舞フカウンシテ身體ニ害カアル程ノ澤山ノ蟲ハ除レ、ケレトモ一匹殘ラズ跡ヲ絶ヤスコトハ難シイシ少シシモ殘ツテ居レハ蟲ハ複殖ルカラ毎冬驅蟲藥ヲノム、ソウシテ人體内ニ蟲カ居ナクナレハ山形ノヤウナ寒イ所ヲハ體外ヲ冬ヲ越ヌ蟲ハ無イカラ驅蟲藥ヲノシタ

町村内テハ何處カラモ二度ト蟲病ニ罹ルコトハアツハシナカイ、シレタカラ身體ヤ精神ヲ丈夫ニスル爲ニ寄生蟲病ニ罹ラヌ爲ニ野糞ヲシナイヤウニシ、糞尿ノ取扱ニ氣ヲ付ケラ、毎年蟲ヲ除ルヤウニシナケレハナリマゼン。

注意 各市町村及學校等ノ團體ニシテ、蛔蟲驅除ノ實施ヲ希望ノ向キハ縣廳ノ衛生課ニ於テ藥品ノ撰擇及其送附方ヲ斡旋スヘシ。

恙蟲病ノ豫防

泰西ノ諺ニ曰ク「平和ヲ望マハ戰備ヲ怠ル勿レ」ト此ノ言移シテ以テ恙蟲病豫防ノ必要ヲ説クニ足ル。恙蟲病ハ恙蟲ノ刺螯ニ因リ發病スルモノニシテ恙蟲ハ野鼠ノ耳内ニ寄生シ繁殖ス故ニ病原體保有者タル野鼠ヲ驅除スルコトハ本病撲滅上唯一ノ良法トス。即チ豫防方法トシテ左ノ三項ヲ列舉セン。

- 一、野鼠ヲ驅除スルコト
- 二、恙蟲ノ撲滅ヲ計ルコト
- 三、恙蟲ノ刺螯ヲ防禦スルコト

以下聊カ之ヲ敷衍セン

一、野鼠ノ驅除

野鼠ノ驅除ハ獨リ恙蟲病豫防上必要ナルノミナラス農作物ノ被害ヲ減少スルニ於テ其ノ効少カラス唯野鼠ハ其ノ繁殖力極メテ強キヲ以テ之ヲ驅除シ捕獲スルニハ幾多ノ熟練ト非常ノ忍耐トヲ要ス動物學者ノ調査ニ據レハ春季四月ニ於ケル雌雄一番ノ野鼠ハ秋末ニ於テ約二百四トナリ二年目ニハ二萬七千三百餘匹トナリ三年目ニハ三百八十七萬匹ノ驚クベキ繁殖ヲ見ルトイフ

河水汎濫、泥沙堆積スル河岸若クハ中洲等ニ野鼠ノ常ニ夥シク棲息スルハ適々害敵タル他ノ鳥獸ノ逸早ク遁竄セルニ因ルモノナラン

今野鼠驅除法ヲ自然的及人爲的ノ二ニ分チテ説明ゼン

(一)自然的驅除法 即チ害敵利用法ニシテ野鼠ヲ常食トスル「アラタイシャウ」「ヤマカヂシ」ノ蛇類「フクロブ」「タカ」ノ猛禽類「イタチ」「テン」ノ小獸類ヲ放置スルニアツ但禽獸類ハ分娩年一回ニシテ繁殖力乏シキノミナラス洪水汎濫地ノ棲息ニ適セサルカ故ニ目的ヲ達スルコト困難ナリ

(二)人爲的驅除法 穀鼠劑ヲ配置シ鼠チフス菌ノ培養ヲ應用シ又ハ捕鼠器ノ設置ヲチス等總テ是レ人爲的驅除法ニシテ熟練ト忍耐トヲ以テ之ヲ行ハ、相當ノ効果アリ之カ獎勵法トシテ捕鼠ノ買上ヲ實行スルモノ可ナリ

二、恙蟲ノ僕滅

有毒地ニ於テ昆蟲捕食ノ肉食甲蟲「シチヲシヘ」「ヲサムシ」類ノ發生棲息スルモノ極メテ稀ナリ想フニ是レ洪水汎濫ノ影響ナルヘク唯恙蟲ノミ汚泥ノ堆積ニ因リ却テ其ノ發生ヲ促進セラル、モノナラン故ニ洪水汎濫ノ場所ニハ堤防ヲ築造シ若クハ排水ノ道ヲ講シテ汚泥ノ流出ヲ防カハ毒蟲ノ發生隨テ其ノ跡ヲ絶ツヘク有毒地ニ於ケル樹木雜草ノ燒却キ亦毒蟲ノ發生ヲ妨クル一方法タルヘシト信ス
新潟縣ニ於テハ北里博士ノ意見ニ依リ明治二十七年ヨリ同三十年ニ至ル間棄テ燃料トシテ有毒地ノ燒拂、生石灰ノ撒布ヲ行フト共ニ一面有毒地ニ出入スル者ニ對シ薄荷油ヲ官給セリ俗說ニ「螽斯ノ鳴カサル處ニ限り恙蟲發生ス」ト傳フ或ハ然ラン

三、恙蟲ノ刺螯ヲ防禦スルコト

之ヲ防禦セントスルニハ小ニシテハ恙蟲ノ本體、性質及刺螯ノ部位ヨリ大ニシテハ發生地ノ性質、蔓延ノ系路等ニ關スル一般智識ヲ貯フルヲ要ス便宜ノ爲メ公衆的豫防法及個人的豫防法ノ二ニ分チテ之ヲ說カシ

(一)公衆的豫防法 廣義ニ於ケル本病ノ豫防ハ獨リ衛生上ノ問題タルノミナラス水利、農產等ニモ影響スルヲ以テ本病ノ調査ヲ爲スニハ勢各方面ノ人士ヲ網羅セサルヘカラス此ノ種ノ計畫ハ一般公衆ノ爲メ豫防方法ヲ講スルノ目的ナルヲ以テ之ヲ公衆的豫防法トイフ
調査着手ノ要件左ノ如シ

- 一、醫學上ノ研究調査
- 二、最上川治水上ノ調査
- 三、農作物ノ調査
- 四、恙蟲病豫防思想ノ普及
- 五、法令ノ制定

豫防治療上ノ要件左ノ如シ

- 一、危險區域及注意區域ヲ一般ニ示スコト
- 二、講話會ノ開催並印刷物ノ配布
- 三、殺鼠劑ノ配置(野鼠驅除)
- 四、恙蟲病ノ早期發見(届出規程ノ制定)
其ノ他豫防治療ニ必要ナル措置
- 尙實施上ニ關スル注意左ノ如シ
 - 一、忍耐以テ成功ヲ期スルコト
 - 二、一時ノ効果ヲ見テ中止セサルコト
- 三、公設治療所ヲ設置シ可及的患者ノ便宜ヲ計ルコト

四、患者ニ接スルトキハ懲篤町寧ヲ旨トシ患者ヲシテ治療ヲ厭フノ念ヲ起サシメサルコト公衆的豫防措置ノ効果ノ大ナルコト也新潟、秋田ノ兩縣實施ノ跡ニ見テ明ナリ

(二)個人的豫防法 人誰カ疾病ヲ恐レナルモノアランヤ又誰カ恙蟲病ヲ好マンヤ唯鹿ヲ逐フ獲師山ヲ見ヌノ譬ノ如ク桑葉又ハ穀類ヲ獲シカ爲メ危険ヲ忘レテ有毒地ニ出入スルモノアリ其情ヤ憐ムヘシト雖生命ヲ重ンセザルノ罪ハ免ル、コト能ハス有毒地附近ノ住民ハ宜シク自衛心ニ訴ヘ抵抗力ノ増進ヲ期スルト共ニ有害物ヲ排除シ危険ヲ避ケサルヘカラス「君子ハ危キニ近寄ラス」請フ此ノ語ヲ三誦セヨ

已ムヲ得シテ有毒地ニ出入セントスルトキハ衣服、襯衣等ニ二十倍乃至五十倍ノ石炭酸水ヲ撒布シ時々之ヲ反復スルコトヲ忘ルヘカス

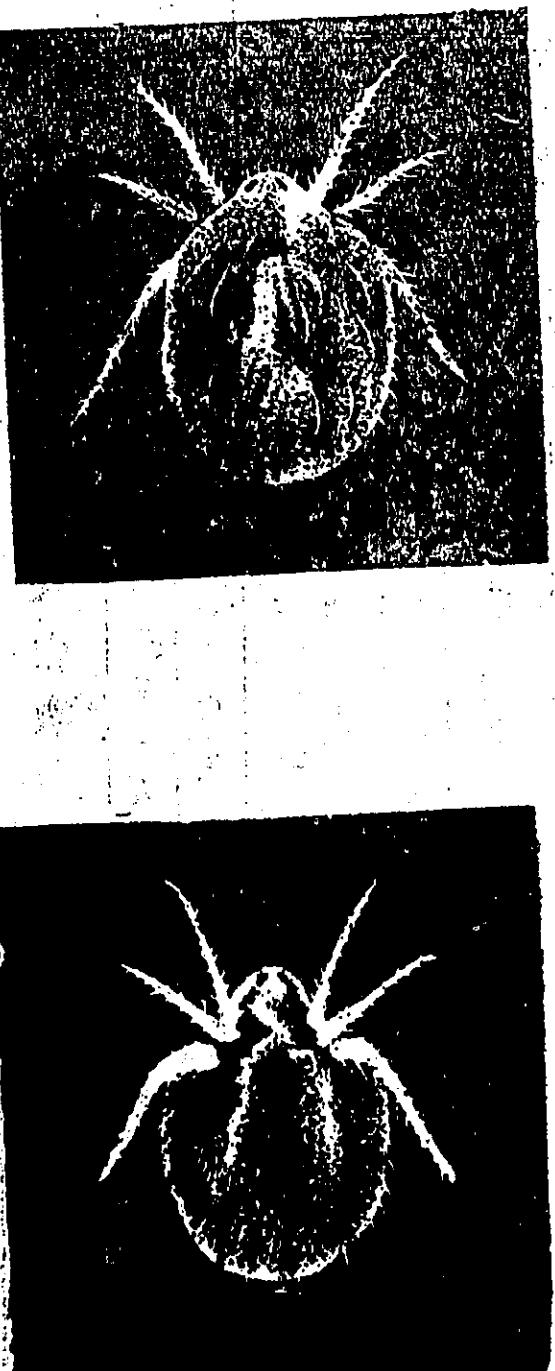
○注意事項

- 一、已ムヲ得シテ危險地ニ出入スルトキハ早朝又ハ薄暮ヲ選ヒテ可成日中ヲ避ケ且地上ニ休憩シ又ハ安臥セサルコト
- 二、危險地ニ赴キ歸宅シタルトキハ直ニ入浴シ全身ノ皮膚ヲ摩擦シ疼痛ノ有無ニ注意スルコト
- 三、衣服ノ表裏、帶、股引、牘鼻褲等ニハ石炭酸水ヲ撒布シ日光ニ曝露スルコト

- 四、有毒地ヨリ採取シタル草木及有毒地ニ携帶シタル馬具。未粧等ハ石炭酸水ヲ撒布シ又ハ數日間日シ警戒ヲ加ヘ注意ヲ怠ルヘカラス

光ニ曝露スヘシ

- 五、恙蟲ハ攝氏六十度ノ熱湯中ニ死亡スルカ故ニ恙蟲附著ノ疑アル物品ハ沸湯中ニ浸漬スルヲ要ス
- 六、恙蟲病全治者ハ再ヒ罹病セスト誤信シ有毒地ニ出入スルハ無謀ナリ慎ムヘシ
- 七、恙蟲ノ刺螯ヲ受ケ又ハ其ノ疑アル者ハ速ニ醫師ノ診療ヲ受クヘシ



恙蟲病發生區域ハ別表及別紙圖面ノ如シ

縣内ニ於テ恙蟲病無料診斷所ヲ設ケタルモノ七箇所アリ常ニ恙蟲刺螯ノ疑アル者ヲ診斷シ發病シタル

保健衛生調査概況

者ハ同地ノ傳染病院ニ收容シテ治療セシムル方法ヲ採リ居レリ危險區域ハ榜示シテ其ノ出入ヲ禁シ關係町民ニ對シテハ別冊豫防心得ヲ配付シ以テ自衛心ノ喚起及警戒ニ努メツヽアリ

九〇

恙蟲病患者及死亡數

山形縣

郡名	町村名	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年
東村山郡	藏増村	三	二	一	一	一	一
西村山郡	谷地町	二	三	二	一	一	一
北村山郡	西根村	七	五	三	二	一	一
東置賜郡	小田嶋村	八	六	五	四	三	二
計	溝延村	一	一	一	一	一	一

恙蟲受蟻者診査成績

(大正七年)

郡名	町村名	別性	受診者數	刺上中恙蟲ニ ル登セラレタ 者	發病者中	發病者中	全治
東村山郡	成生村	男女	一四	一	一	一	一

大正六年	西村山郡	寒河江町	三一四八	一一一	一一一	一一一	一一一
(十五箇町村)	北村山郡	溝延村	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
計	西郷村	大久保村	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
	東根町	大富村	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
	北谷地村	小田島村	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
三八六二	一一五	一一二	二二七	二一六	九七九九	二一	一一一
二三六二	一一三	一一三	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
一一三	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
一五二	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一
一七一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一	一一一

備考

木表ハ縣下七箇所ノ無料診斷所ニ於テ大正七年中恙蟲被蟻ノ疑アルモノヲ取扱ヒタル成績トス
町村名ハ受診者ノ住所ニシテ必スシモ受診ノ場所ト一致セサルヘン

保健衛生調査概況

九一

保健衛生調查概況

(一〇) 島根縣

公立學校職員生徒寄生蟲檢查成績

九

校名	種別	檢查人員	卵保有者	有スル者	二種ノ卵チ 有スル者	一種ノ卵チ 有スル者	同上	中	檢查人員 百付卵有者
農工商高技計	林業女藝	三〇七	二九九	一六一	二一六	二一六	二一六	二一六	二一六
		三七一	四二二	一七三	一七三	一〇九	九六	六一	一四〇
		五六〇	二五一	一一六	一一六	九三	八六	四八	七〇、七
		五六六	五六六	五六六	五六六	一三	七九	一二二	四三
		三五七	三五七	三五七	三五七	一	一	一	一
		六二、一	六二、一	六二、一	六二、一	七〇、四	五七、九	七二、一	五〇、二

種別	檢查	蛔蟲	十二指腸蟲	鞭蟲	蟲樣	東洋蟲毛	蛔蟲	卵保有者	%	三七	元	農業林業	校名
										二七	三七		
										二三	三三		
										三六	三四		
										三一	三六		
										一八、九	三八		
										二九	二四		
										五九	四五		
										五四	四四		
										一六	一六		
										一六	一六		
										0.0%	0.0%		

松江市母衣尋常小學校職員生徒寄生蟲檢查成績表		高等	
檢查人員		蟲卵者數	保有者數
百	分率	一、一二三	五八四
		五二、〇五	三八、一五
		四二八	二六、九二
		三〇二	一、〇七
		十二指腸蟲	四七、九五
		鞭蟲	五三八
		蛔蟲	四七、九五
		蟬	七サル者
		寄生蟲	蟲卵ヲ保有者
		名	

寄生蟲卵保有者ノ種類		其ノ二	
検査人員	蟲卵保有者	保有セル者	保有セルモノ
百 分 率	一一三三	五八四	四二九
	五二、〇五	三八、二四	一三、五五
	一一二二	一五二	〇、二七

保健衛生調查概況

松江市北堀尋常小學校職員生徒寄生蟲検査成績表 其ノ一

検査人員	蟲卵保有者數	保有者数	寄生蟲名	蟲卵ヲ保有セラル者
五〇九	三一二	二四九	鞭蟲	十二指腸蟲
百 分 率	六一、一〇	四八、九二	蟲	東洋毛様線蟲
五〇九	一三九	一九	蛔	一九八
百 分 率	二七、三一	三、七三	蟲	三八、八九
五〇九	一九	二	蛔	セサル者
百 分 率	〇、三九	三八、八九	蟲	蟲卵ヲ保有セラル者

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ二

検査人員	蟲卵保有者	保有者数	一人一種類者	一人二種類者	一人三人種類者	一人四種類者
五〇九	三一二	二二一	二二二	八四	六	二
百 分 率	六一、一〇	四三、四二	四三	一、一八	一	一
五〇九	一六、五〇	八四	保有者	保有者	保有者	保有者
百 分 率	二七、三一	三、七三	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔
五〇九	一九	二	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔
百 分 率	〇、三九	三八、八九	蛔	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蟲卵ヲ保有セラル者

松江市内中原尋常小學校職員生徒寄生蟲検査成績表 其ノ一

検査人員	蟲卵保有者	保有者数	一人一種類者	一人二種類者	一人三人種類者	一人四種類者
六八四	三五七	二八五	二八五	一四九	三二七	三二七
百 分 率	五一、一九	四一、六七	四一、六七	二一、七八	〇、四四	四七、八〇
六八四	二二二	八四	保有者	保有者	保有者	保有者
百 分 率	一六、五〇	六	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔
六八四	一九	二	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔卵ヲ保有セラル者
百 分 率	〇、一五	一	蛔	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔卵ヲ保有セサル者

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ二

検査人員	蟲卵保有者	保有者数	一人一種類者	一人二種類者	一人三人種類者	一人四種類者
六八四	三五七	二七六	二七六	八一	八一	八一
百 分 率	五一、一九	四〇、三五	保有者	保有者	保有者	保有者
六八四	二二二	六	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔
百 分 率	一、一八	一	蛔	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔卵ヲ保有セラル者

備考 本検査ハ塗抹標本ニ依レルモノナリ

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ一

検査人員	蟲卵保有者	保有者数	一人一種類者	一人二種類者	一人三種類者	一人四種類者
六八四	三五七	二七六	二七六	八一	八一	八一
百 分 率	五一、一九	四〇、三五	保有者	保有者	保有者	保有者
六八四	二二二	六	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔
百 分 率	一、一八	一	蛔	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔卵ヲ保有セラル者

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ二

検査人員	蟲卵保有者	保有者数	一人一種類者	一人二種類者	一人三種類者	一人四種類者
六八四	三五七	二七六	二七六	八一	八一	八一
百 分 率	五一、一九	四〇、三五	保有者	保有者	保有者	保有者
六八四	二二二	六	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔
百 分 率	一、一八	一	蛔	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔卵ヲ保有セラル者

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ一

検査人員	蟲卵保有者	保有者数	一人一種類者	一人二種類者	一人三種類者	一人四種類者
六八四	三五七	二七六	二七六	八一	八一	八一
百 分 率	五一、一九	四〇、三五	保有者	保有者	保有者	保有者
六八四	二二二	六	蟲	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔
百 分 率	一、一八	一	蛔	十二指腸蟲	東洋毛樣線蟲	蛔卵ヲ保有セラル者

保健衛生調査概況

大原郡日登村寄生蟲検査成績 其ノ一

九六

検査人員	蟲卵保有者數	保有蟲	寄生蟲卵名	蟲卵ヲ保有セサル者
百 分 率	三、〇七〇	二、八八〇	二、三七一	一、二二七
百 分 率	九三、八一	七七、三三	三九、六四	一、九九九
百 分 率	三、〇七〇	二、八八〇	一、二二七	二二
百 分 率	九三、八一	七七、三三	三九、六四	一、九〇
百 分 率	三、〇七〇	二、八八〇	一、二二七	六、一九

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ二

検査人員	蟲卵保有者數	保有蟲	寄生蟲卵名	蟲卵ヲ保有セサル者
百 分 率	二、二九六	二、二七〇	一、二二〇	一、二二
百 分 率	九八、八七	九一、一六	四八、七八	四〇、一〇
百 分 率	二、二九六	二、二七〇	一、二二〇	一、二二
百 分 率	九八、八七	九一、一六	四八、七八	四〇、一〇
百 分 率	二、二九六	二、二七〇	一、二二〇	一、二二
百 分 率	九八、八七	九一、一六	四八、七八	四〇、一〇

簸川郡東村寄生蟲検査成績 其ノ一

検査人員	蟲卵保有者數	保有蟲	寄生蟲卵名	蟲卵ヲ保有セサル者
百 分 率	二、二九六	二、二七〇	一、二二〇	一、二二
百 分 率	九八、八七	九一、一六	四八、七八	四〇、一〇
百 分 率	二、二九六	二、二七〇	一、二二〇	一、二二
百 分 率	九八、八七	九一、一六	四八、七八	四〇、一〇
百 分 率	二、二九六	二、二七〇	一、二二〇	一、二二
百 分 率	九八、八七	九一、一六	四八、七八	四〇、一〇

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ二

検査人員	蟲卵保有者數	保有蟲	寄生蟲卵名	蟲卵ヲ保有セサル者
百 分 率	一、七六二	一、七三一	一、六一六	一、一三
百 分 率	九八、二四	九八、二四	九一、七四	一、七六
百 分 率	一、七六二	一、七三一	一、六一六	一、一三
百 分 率	九八、二四	九八、二四	九一、七四	一、七六
百 分 率	一、七六二	一、七三一	一、六一六	一、一三
百 分 率	九八、二四	九八、二四	九一、七四	一、七六

能義郡宇賀莊村寄生蟲検査成績 其ノ一

検査人員	蟲卵保有者數	保有蟲	寄生蟲卵名	蟲卵ヲ保有セサル者
百 分 率	一、七六二	一、七三一	一、六一六	一、一三
百 分 率	九八、二四	九八、二四	九一、七四	一、七六
百 分 率	一、七六二	一、七三一	一、六一六	一、一三
百 分 率	九八、二四	九八、二四	九一、七四	一、七六
百 分 率	一、七六二	一、七三一	一、六一六	一、一三
百 分 率	九八、二四	九八、二四	九一、七四	一、七六

寄生蟲卵保有者ノ種類 其ノ二

備考 本検査ハ集卵法ニ依レルモノナリ

保健衛生調査概況

九七

保健衛生調査概況

九八

寄生蟲卵保有者調其ノ一

年 齡	姓 別	蟲 卵 別	寄生蟲卵保有者調其ノ一											
			十五歲 以 上	十四歲 以 上	十三歲 以 上	十二歲 以 上	十一歲 以 上	十歲 以 上	九歲 以 上	八歲 以 上	七歲 以 上	六歲 以 上		
十五歲 以上	女	蛔	82,59	82,84	72,70	85,97	74,96	84,90	84,69	72,35	83,60	79,47	82,44	75,07
十四歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十三歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十三歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十二歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十二歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十一歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十一歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
十歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
九歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
九歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
八歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
八歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
七歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
七歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
六歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
六歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
五歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
五歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
四歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
四歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
三歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
三歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
二歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
二歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
一歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
一歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
半歲 以上	女	蛔	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
半歲 以上	男	蟲	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
合計		蛔	82,25	85,27	79,21	75,80	75,89	75,29	61,81					
合計		蟲	44,20	47,05	41,33	41,40	41,84	40,54	38,53					
合計		蟬	2,17	2,32	2,02	1,91	1,42	0,77	1,97					
合計		蠅	80,27	79,72	80,83	74,52	82,27	74,90	96,06					
合計		蠕	1	1	1	1	1	1	1					
合計		毛	1	1	1	1	1	1	1					
合計		線	1	1	1	1	1	1	1					
合計		東	1	1	1	1	1	1	1					
合計		指	1	1	1	1	1	1	1					
合計		腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1					
合計		十二指腸	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胰	1	1	1	1	1	1	1					
合計		膽	1	1	1	1	1	1	1					
合計		胃	1	1	1	1	1	1	1				</	

合		計		其		遊	
				他		藝	
計						人	
		〃	〃	〃	〃	〃	〃
82,25		85,27	79,21	84,62	82,86		
五、三二		三、七三	三、四六	四、元		一、	一、
		一、	一、	一、	一、	一、	一、
44,20		47,05	41,33	28,95	14,29		
二、八四		一、五四	一、三〇	三、五		一、	一、
2,17		2,32	2,02	5,77	2,86		
一〇〇		三、空	三、一			一、	一、
80,27		79,72	80,83	83,46	82,86		
五、二三		二、五〇	二、一〇	四、元		一、	一、
		一、	一、	一、	一、	一、	一、
三、四八		六、四三	六、四三	六、四八		三、	三、
		一、	一、	一、	一、	一、	一、
六、四五九		五、三九	五、三八	五、三九		三、	三、

保健衛生調查概況

同 郡 同 町 華浦小學校		阿武郡川上村川上小學校		吉敷郡山口町大殿小學校		同 郡 同 町 今道小學校		同 郡 同 町 藩附屬小學校		同 郡 同 町 下宇野令小學校		同 郡 同 町 柳井町柳東小學校		同 郡 新庄小學校		厚狹郡厚南村厚南小學校	
一五〇	一一四	一四三	八八	一四七	九九	一六七	七八	一六〇	五七	一九〇	四五七	一〇六	一五三	一九	一〇六	一五三	一九
九五、三	四六、五	五九、六	二六、三	四〇、四	五三、五	六三、四	四八、七	三八	一五	一九	二八	四二	四〇	六一	二六	七七、二	二二、八
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
山内、德永	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元
渡邊	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
櫛原、渡邊	恩	知	比	分	百	上	同	蟲	指	十二	陽	蟲	蠅	其	他	種	寄生蟲卵種類別
村																	學 校 名
																	者 卵 保 有 數
久賀小學校	久賀小學校	西方小學校	西方小學校	松崎小學校	松崎小學校	川上小學校	川上小學校	大殿小學校	大殿小學校	厚狹郡厚南村厚南小學校	同 郡 新庄小學校	玖珂郡柳井町柳東小學校	同 郡 同 町 下宇野令小學校	同 郡 同 町 柳井町柳東小學校	同 郡 同 町 大殿小學校	吉敷郡山口町大殿小學校	阿武郡川上村川上小學校

小學校教員寄生蟲卵保有者調查

備考　其他欄ニハ「メタゴニムス」五六、○蠍蟲一、「ヘテロフエス」三、「ストロンギルス」一、「ストロンギロイデス」一ナ含有ス

小學校教員寄生蟲卵保有者百分比例		備考 其他欄ニハ「メタゴニムス」五六、〇蟬蟲一、「ヘテロフェス」三、「ストロンギルス」一、「ストロンギロイデス」一ヲ含有ス	今道小學校	
計	郡市名		師範附屬小學校 下宇野令小學校 柳東小學校 新庄小學校 厚南小學校	
一〇九	大津市 大島郡 關島郡 熊毛郡 下市	參加數員數	一、〇八	元二三 元二六 元二七 元二九 元三三
九三		檢查人員	八七	三三 三三 三三 三三 三三
八六		檢便數	二〇	二二 二二 二二 二二 二二
七三		十二指蟲	四三	二一 二一 二一 二一 二一
五九		蛔蟲	空	一一一 一一一 一一一 一一一 一一一
三三		鞭蟲	五	八八四 八八四 八八四 八八四 八八四
二七		蟲卵	全七	六六四 六六四 六六四 六六四 六六四
二三		種數	二八	七七八 七七八 七七八 七七八 七七八
一九		其・他	四三	五三 五三 五三 五三 五三
一五			二五七	三四 三四 三四 三四 三四
一四			六〇	二六〇 二六〇 二六〇 二六〇 二六〇
一三			三〇	三六〇 三六〇 三六〇 三六〇 三六〇
一二			一〇〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇
一一			〇六	〇六 〇六 〇六 〇六 〇六

保健衛生調查概況

(二二) 和歌山縣

寄生蟲卵檢查成績表

學 校 名		別 女 男		檢 查		蟲 卵 種 別 檢 查 人 員 百 二 對 斯・ル 比 率		檢 查	
		人 員		陽 性		性 人 員			
和歌山市大新	尋常小學校	計	男	男	女	男	女	男	女
海草郡西和佐	尋常高等校	計	男	男	女	男	女	男	女
小 村	尋常	一〇〇	四七	六〇五	四七	一八〇	一〇一	一一三	一二三
學 校	尋常	一一三	二二	一一三	一一三	二二三	一一三	一二三	一二三
大正八年	至二月八日	自二月八日	至十一月廿五日	大正七年	十二月	十一月	十一月	十一月	十一月

備考 西牟婁郡三栖村、上秋津村、下秋津村、萬呂村ハ主トシテ蛔蟲ニ重キヲ置キ他ノ蟲ニ對シテハ検査ヲ行ハサリキ

(一三) 愛媛縣

體性年齢及寄生蟲種別ニ依ル檢便検査表

溫泉郡雄群村大字土居田及針田

(一四) 福岡縣

三井郡宮ノ陣村大字宮瀬字荒瀬及久留米市
字長門石ニ於ケル寄生蟲病ノ調査

(1) 材料之採集

現住人口ノ調査ニヨリ部落内各戸ノ住者ハ知ラレタルカ故ニ一人毎ニ一封筒ノ上ニ其ノ名ヲ記シ、其ノ内ニ膏薬用蛤貝ヲ容レソレソレ其ノ家々ニ配附シテ丁寧ニ教ヘテ曰ク便意アリテ圓ニ上ルトキハ其ノ少許（拇指頭大ホト）ヲ貝ノ中ニ藏メ紙ヲ以テ貝ヲ包ミ之ヲ當人ノ名ノ記サレタル封筒内ニ入シ置ヘシ、人夫之ヲ受取ニ廻ハルヘケレハト。

斯クテ之ヲ集メテ福岡ニ送リ検査ノ用ニ供シタリ、糞便ノ検査ヲハ便宜上九州帝國大學醫學部衛生學教室ニ於テ行フコトトナシ宮入同大學教授及ヒ宇木陸軍軍醫監ソノ検査ニ參加シタリ。

之ヲ経験ニ徵スルニ稀ニハ詐リテ他人ノ糞便ヲ藏メ出スモノアリ或ノ糞便ノ量少キニ過ヨ朝焼甚クシク或ハ糞便ヲ地上ニ漏ラシテ而シテ其一部ヲ採リタルニヤ細砂之ニ交ハリ在リテ大ニ検査ヲ難カラシメタルアリ。此ノ數點ハ後ノ調査ニ當リテ注意ヲ要スル所タリ、今ハ細砂ノ混入ヲ避クルタメ糞便ヲ先ツ新聞紙ヲ用ヒテ受ケ然シテ後其ノ一部ヲ採ルヤウニト諭シツ、アリ。

(口)糞便ノ検査方法

一〇八

臨床家ハ患者ノ糞便ヲ検査スルタメ種々ノ方法ヲ案出シタリ就中各種ノ集卵法ハ理ニ於テ調査成績ヲ正確ナラシムルコト論ヲ俟タス。然レトモ其ノ器械ヲ要シ手數ヲ要スルノ外甚タ手ノ熟練ヲ要シテ而シテ蟲卵ノ中ニハ所用ノ試薬ノ強力ニ侵襲セラレテ、ソレトシテ鑑別セラレ難キ程度ニ姿ヲ換ユルモノアリ、シカノミナラス其ノ手充分ニ熟練スルニアラサレハ却リテ普通ノ検査法ニヨリテ見ユヘキモノヲ逸シ去ルノ虞多シ。將來各府縣ニ於テ寄生蟲ノ調査ハ交々開始セラルヘク、調査ノ手愈々多ケレハ齟齬ノ程度愈々大ナルヲ加フヘシ。是ニ於テ我調査ハ方法ヲ可及的單簡ニナシ何人ニテモ少ク之ニ慣ル、トキ略均一ノ成績ヲ擧ケ得ヘキ様ニト心掛ケタリ。

用フル所ノ「オブエクトガラス」ハ普通ノ窓硝子ヲ普通大ニ切リタルモノ(「縦二八ミメ横七七ミメ」、「縦二八ミメ」ヨリ狹キトキハ往々糞汁ノ指頭ニ著クノ虞レアリ)「デツキガラス」ハ大形ノモノ(「縦二二ミメ横一六ミメ」)、何レモ先ツ之ヲ稀鹽酸ノ中ニ漬ケ、常水ニ移シテ洗ヒ、空中ニ乾カシテ後「アルコホル」ヲ用ヒテ拭ヒ上ク。

標本ノ作製

常水ノ小滴ヲ「オブエクトガラス」上ノ中央ニ點シ、封筒ノ中ヨリ貝ヲ取り出シ之ヲ開キ「マツチ」ノ軸

ヲ用ヒテ(一糞毎ニ「マツチ」ヲ新ニシ後之ヲ焼却ス)糞便ノ少許ヲ採リ、オブエクトガラス上ノ水滴ニ混シテ丁寧ニ攪和シ、食物殘渣ノ稍大ナルモノハ之ヲ片寄セ而シテ次第ニ其ノ糞液ヲ左右ニ擴ケ布キテ以テ大形「デツキガラス」一枚ヲ横ニ密接シ並ヘ被フテ適當ノ液層平等ニ「デツキガラス」ノ下ヲ充タスヤウニナス液層厚キニ過クレハ「デツキガラス」或ハ流運動キ易ク且顯微鏡ノ透視力ヲ妨ク液層薄キニ過クレハ「デツキガラス」ノ下、氣泡繁生シテ而シテ蟲卵往々ニシテ壓潰セラル。糞塊ノ量大ニ過クルトキハ液層濁リテ亦透視力ヲ妨ク。蟲卵大ニシテ液層ハ少々厚クトモ能ク透見セラル、モノアリ、シカモ其ノ蟲卵ノ數ハ多カラサルヲ常例トスルカ如キ場合ニアリテハ少シク糞量ノ多キニ過クルヲ却リテ便トナス。之ニ反シテ蟲卵至テ小ニシテ液層極メテ薄カラサレハ之レヲ見別クルニト因難ナル場合アリ。且大ナル蟲卵ヲ視ルノ視感ヲ移シテ直ニ小ナル蟲卵ヲ視ントスルハナカナカニ難シ。或蟲卵ハ既ニ腸ノ上部ニ於テ腸内容ニ交ハリ或蟲卵ハ腸ノ下部ニ於テ糞便ノ既ニ形ヲナセルカ上ニ著ク、彼ハ平等ニ糞中ニ散在シ此レハ多ク糞柱ノ面ニ附着シタリ、是レ検査ノ際、眼前ノ材料ノ何レノ部分ヲ取ルヘキカト工夫ヲ要スル所以ナリ、此ノ間ノ消息ヲ呑ミ込ミテ適宜好良ノ標本ヲ作製スルハ亦唯練習ヲ重ネテ會得スヘキ手心タリ、惜セ哉此ノ手心ノ練習多クハ輕視セラレタリ。

斯ク標本ヲ作製シテ之ヲライツ顯微鏡オクラール1、オブエクトガラスヲ用ヒテ望ミ精検縦横一隅ヲモ見落ササラント務ム、而シテ苟モ疑ハシク見ユルモノアルトキハ必ス「オブエクトガラス」ヲ用ヒテ